

だれにも当てはまる日常の  
できごとを自然なあるがままの目でユーモラスに綴る  
CL diary #39

むーらん

(滋賀県滋賀郡CLインストラクター)

10月9日(日)

放送のデジタル化で映らなくなった実家のテレビを、電器屋さん買い替えに行った。そのとき、私の家にも薄型のテレビを勧められた。

「うちのは、大きいブラウン管ですけど、デジタル放送、ちゃんと映ってますよ」すると店員さんが「チューナーをつけられました?」「いえ、つけていませんが、映ります」と私。

「薄型じゃないのに映ってます?不思議ですね」だからちゃんと映ってますって。事実なのに、なかなか信じてもらえないのは、なんてもどかしいのだろう。

10月22日(土)

これ、直してもらうのは無理かもしれないと思いながら、壊れた眼鏡を眼鏡屋さん持っていった。家で派手に転んでしまい、掛けていた眼鏡のレンズが外れて、フレームもひどく曲がってしまったのだ。店員さんに見せると

「うーん…途中で壊れてしまうかもしれませんが、できるだけやってみます」とのこと。作り直すことを覚悟して、待っていると、

「おまたせしました。一度掛けてみてもらえますか?」なんと、きれいに直っている。ほんの少し曲がっているところもあるが、あんなにひどく壊れた眼鏡を、よくここまで直してくださったものだ。私もほとんど諦めていただけに、店員さんの技術に感心したのと、眼鏡を眼鏡として、また生かすことができたのが何よりよかった。

11月5日(土)

スーパーの駐車場から出できたら、もう真っ暗になっていた。ここは右折して出るのが、いつも警備員さんが立って、誘導棒を振ってくれている。棒を横に振って「行ってください」の合図。一旦停止の表示はあるものの、大丈夫だと思い、出ようとしたら、びっくり!右方向から車が!相手がぎりぎりで止まってくださったので、なんとか衝突はしないですんだ。警備員さんは行っていいって合図したのに…。警備員さんに頼りすぎ、私も油断していたところもあるけれど。これからは、やはり最後は自分の目でしっかり確かめようと思った。

11月13日(日)

このごろ、私はテレビで競馬の中継を見るのが好き。一所懸命、走る馬たちの姿がとても美しいので。今日もあるレースがいよいよスタートとなって、わくわくして見ていると、ちょうどそのとき、インターホンが。ああもう、誰?なんでこんないいときに…。出ると、どうもセールスのよう。

「ちょっと今、手が離せませんので(これ、本当)」販売員の人も一所懸命仕事をされているのには違いないのだけれど、それで他人に迷惑(…それほどのものではないかな?)をかけていることに気づかない。一方で、私も仕事で電話をすることが時々あるが、相手の人の大切な時間に割り込んでいることがあるかもしれない。

12月2日(金)

仕事場で食べるお昼ごはんは、朝、お弁当屋さん注文して、毎日届けてもらっているが、今お願いしているところはとてもおいしくて気に入っている。だけど昨日は、ふたを開けてみると、明らかにひとつの仕切りの中におかずが入っていなかった。こんなことは今までなかったのに。たぶんこれだけ入れ忘れられたのだろう。さて、お弁当屋さん、このことを言うべきか、それとも黙っておいたほうがいいのか。言ったら

したら、細かいことを言っているなと思われて、お弁当屋さんとの関係が悪くなるかも知れないし…。でも言ってあげたほうが、これから注意して同じ失敗をしないように気をつけられると思うし…。それで、結局、今日の配達るとき、できるだけ軽い感じで言ったのだが。それにしても、おかずひとつでずいぶん悩んだなあ。

12月24日（土）

実家にあったたくさん古い布団を、大型ごみとして市のごみ処理場まで、母と弟とで運んだ。この布団を置いたまま、年を越したくないと母が言うので。自分たちで処理場まで運ぶのは初めてのこと。処理場に着くと「布団ですか？そうしたらここに置いて」軽トラックから、職員さんに指示された場所に降ろした。降ろしているとき、処理場の中はやはりすこし臭いがし、あまりよい環境ではなかった。それでも、こんな年末でも、多くの人が働いていた。年末が一番忙しいのかもしれないが。今日は、ごみ収集の仕事の大変さをほんのすこしでも体験できたのだろうか。

 [目次へ戻る](#)